

<資料>

○指標一覧

分野別目標	項目	計画策定時	全国値等	目標値等
がんによる死亡率の減少	がんの75歳未満年齢調整死亡率 (人口10万対)	全がん 67.9 胃がん 7.7 大腸がん 9.7 肝がん 3.7 肺がん 11.3 乳がん 9.5 子宮がん 5.9 R3(2021)	全がん 67.4 胃がん 6.6 大腸がん 9.6 肝がん 3.7 肺がん 11.9 乳がん 9.9 子宮がん 4.9 R3(2021)	減少
	がんの5年相対生存率	全がん 63.9% 胃がん 62.7% 大腸がん 68.0% 肝がん 33.0% 肺がん 32.6% 乳がん 93.6% 子宮がん 79.3% (2009-2011)	全がん 64.1% 胃がん 66.6% 大腸がん 71.4% 肝がん 35.8% 肺がん 34.9% 乳がん 92.3% 子宮がん 78.7% (2009-2011)	上昇
すべてのがん患者の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	身体的な苦痛を抱えていると思わないがん患者の割合	60.8% H30(2018)	56.1% H30(2018)	上昇
	精神心理的な苦痛を抱えていると思わないがん患者の割合	65.1% H30(2018)	62.1% H30(2018)	上昇
がんになっても安心して暮らすことができる社会の構築	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	81.0% H30(2018)	70.1% H30(2018)	上昇

Ⅰ がん予防及び早期発見の推進

個別目標	項目	計画策定時	全国値等	目標値等	
がん予防及び早期発見ができています	がんの年齢調整罹患率 (人口10万対)	全がん 377.5 胃がん 41.9 大腸がん 57.6 肝がん 12.1 肺がん 39.5 乳がん 100.0 子宮がん 33.9 R1(2019)	全がん 387.4 胃がん 41.6 大腸がん 58.2 肝がん 12.0 肺がん 42.4 乳がん 100.5 子宮がん 34.3 R1(2019)	減少	
	早期がん割合	52.9% R1(2019)	54.6% R1(2019)	上昇	
施策	項目	計画策定時	全国値等	目標値等	
がんの予防の推進	県民健康・栄養調査 R4(2022) ※喫煙率～リスク飲酒者割合				
	20歳以上の者の喫煙率		17.6%	16.7%	12%以下
	受動喫煙の機会を有する者の割合	職場	20.0%	26.1%	望まない受動喫煙のない職場の実現
		家庭	4.3%	6.9%	3.9%以上
		飲食店	13.1%	29.6%	15%以上
	食塩摂取量		9.7g/日	10.1g/日	8g/日未満
	野菜摂取量		292.8g/日	281g/日	350g/日以上
果物摂取量100g未満者の割合		63.5%	63.3%	30%以下	

施策	項目	計画策定時	全国値等	目標値等	
がんの予防の推進	運動習慣者の割合	20-64・男	22.0%	23.5%	41%以上
		20-64・女	20.3%	16.9%	32%以上
		65-・男	55.1%	41.9%	44%以上
		65-・女	45.1%	33.9%	41%以上
	リスク飲酒者の割合	20-・男	15.5%	14.9%	14%以下
		20-・女	9.4%	9.1%	6.2%以下
	肝炎ウイルス検査受検率	13.8%(B型) 14.0%(C型) R3(2021)	—	上昇	
HPVワクチン実施率	38.7% R3(2021)	37.4% R3(2021)	上昇		
がんの早期発見の推進	がん検診の受診率	胃がん 39.5% 大腸がん 45.7% 肺がん 52.4% 乳がん 49.9% 子宮頸がん 43.1% R4(2022)	胃がん 41.9% 大腸がん 45.9% 肺がん 49.7% 乳がん 47.4% 子宮頸がん 43.6% R4(2022)	60%以上	
	精密検査の受診率	胃がん 86.2% 大腸がん 68.9% 肺がん 85.1% 乳がん 91.9% 子宮頸がん 86.5% R2(2020)	胃がん 84.1% 大腸がん 69.8% 肺がん 83.0% 乳がん 89.2% 子宮頸がん 74.6% R1(2019)	90%以上	
	個別検診実施機関に関する事業評価の実施市町数	胃がん・大腸がん・ 肺がん・乳がん・ 子宮頸がん 0市町 R4(2022)	—	全市町 (25市町)	
2 がん医療の充実					
個別目標	項目	計画策定時	全国値等	目標値等	
がん医療が充実している	がんの診断・治療全体の総合的評価平均点	8.0点 H30(2018)	8.0点 H30(2018)	上昇	
	納得のいく治療を選択できたと思うがん患者の割合	75.8% H30(2018)	79.6% H30(2018)	上昇	
	拠点病院 R4現況報告	院内がん登録数	12,049件	—	—
		手術件数	9,353件		
		薬物療法患者数	19,039人		
		放射線治療患者数	3,083人		
緩和ケアチーム新規患者数		1,128人			
医療圏診療実績	—	—	—		

施策		項目	計画策定時	全国値等	目標値等
がん医療の均てん化・集約化		診療実績	拠点病院 R 4 現況報告（再掲）		
がん医療の集約化	小児がん診療病院 R 4 現況報告	年間入院小児がん患者延べ数	196 人	—	—
		外来小児がん患者延べ数	5,151 人	—	—
		他施設から受け入れた小児がん患者数	38 人	—	—
		小児がん患者の紹介を受けた医療機関数	32 機関	—	—
	希少がん症例数		177 件 R4(2022)	—	—
緩和ケアの充実		拠点病院等の緩和ケアチーム新規患者数	拠点病院 R 4 現況報告（再掲）		
		身体の苦痛や気持ちのつらさを和らげる支援は十分であると思う患者の割合等	37.3% H30(2018)	42.5% H30(2018)	上昇
地域における緩和ケア提供体制の整備	拠点病院 R 4 現況報告	緩和ケア外来への地域の医療機関からの年間新規紹介患者数	55 人	—	—
		自施設でがん診療を受けている緩和ケア外来患者の年間新規診療患者数	625 人	—	—
		地域の施設が開催する多職種連携カンファレンスに参加した年間回数	38 回	—	—
③ がん患者等を支えるための環境づくり					
個別目標		項目	計画策定時	全国値等	目標値等
がん患者やその家族を支える環境が整っている		家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	42.7% H30(2018)	47.1% H30(2018)	上昇
		がんやがん治療に伴う身体の苦痛や気持ちのつらさにより、日常生活を送る上で困っていることがない人	74.0% H30(2018)	69.5% H30(2018)	上昇
施策		項目	計画策定時	全国値等	目標値等
相談支援・情報提供等の推進	がん相談支援センターの活用促進	がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	92.2% H30(2018)	76.5% H30(2018)	上昇
		がん相談支援センターでの自施設・他施設からの新規相談件数	5,103 件 R3(2021)	—	—
	相談支援体制の充実	相談員研修を受講したがん相談支援センターの相談員の数	121 人 R3(2021)	—	—

施策		項目	計画策定時	全国値等	目標値等	
相談支援・情報提供等の推進	相談支援体制の充実	ピアサポーター数	R 6 から登録	—	—	
		患者サロン開催数	28 回 R3 (2021)	—	—	
がん患者の就労支援	がん患者等が働きやすい職場環境づくり	がんの治療等のために通院しながら働き続けられる環境にあると思う県民の割合	25.0% R4 (2022)	—	50%以上	
	相談支援体制の充実	がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合	40.1% H30 (2018)	45.7% H30 (2018)	—	
		拠点病院等のがん相談支援センターにおける就労に関する相談件数	401 件 R3 (2021)	—	—	
その他の患者支援	相談支援体制の充実	精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合 ※思わないと回答した割合	(再掲)			
		がんと診断されてから周囲に不必要に気を遣われていると感じる割合	16.8% H30 (2018)	12.9% H30 (2018)	減少	
ライフステージに応じた対策	小児・AYA世代のがん対策	患者支援の充実	妊孕性温存療法・温存後生殖補助医療費助成件数	19 件 R4 (2022)	—	増加
			アピアランスケア助成件数	849 件 R4 (2022)	—	増加
			在宅ターミナルケア実施市町数	4 市 R4 (2022)	—	25 市町
			在宅ターミナルケア助成人数	15 人 R4 (2022)	—	増加
			ピアサポーター数	(再掲)		
			患者サロン開催数	(再掲)		
	医療提供体制の充実	診療実績	小児がん診療病院 R 4 現況報告 (再掲)			
		妊孕性温存療法実施指定医療機関数	3 機関 R4 (2022)	—	—	
	保育環境・教育環境の充実	入院小・中・高校生の学習支援延べ件数	106 件 R4 (2022)	—	—	
	相談支援・情報提供等の推進	がんと診断されてから病気や療法生活について相談できたと感じるがん患者の割合	(再掲)			
高齢者のがん対策		人生会議 (ACP) に係る認知度	21.4% R4 (2022)	—	上昇	
		望んだ場所で過ごせたがん患者の割合	—	47.9% (2018-2019)	参考値	

4 がん対策を推進するために必要な基盤整備

施策		項目	計画策定時	全国値等	目標値等
人材の確保 及び育成		各医療資格者数 R4(2022)			
		緩和ケア研修会修了者数（拠点病院等以外の施設の医師・歯科医師）	300人	—	500人以上
		がん治療認定医数	236人	18,009人	—
		がん看護専門看護師数	16人	1,054人	—
		放射線治療専門医数	18人	1,406人	—
		がん放射線療法看護認定看護師数	6人	372人	—
		放射線治療専門放射線技師数	27人	2,294人	—
		がん薬物療法専門医数	10人	1,617人	—
		がん薬物療法認定薬剤師数	16人	1,253人	—
		がん化学療法看護認定看護師数	15人	1,624人	—
		緩和医療認定医数	15人	1,032人	—
		緩和薬物療法認定薬剤師数	11人	827人	—
		緩和ケア認定看護師数	27人	2,525人	—
		がん性疼痛看護認定看護師数	7人	739人	—
		緩和ケア研修会修了者数（医師・歯科医師）	2,928人	158,565人	—
		がん相談支援センター相談員指導者研修会修了者数	15人	707人	—
がん教育・普及啓発の推進	学校におけるがん教育	がんについての認知度	P47 参照	—	上昇
	県民に対する普及啓発				
がん登録等の推進		DCI 割合	3.1% R1(2019)	3.1% R1(2019)	—
		DCO 割合	2.0% R1(2019)	1.9% R1(2019)	—